



# ポートフォリオの活用

鹿児島大学 FD 委員会 FD ガイド WG

【発行/2016年10月】

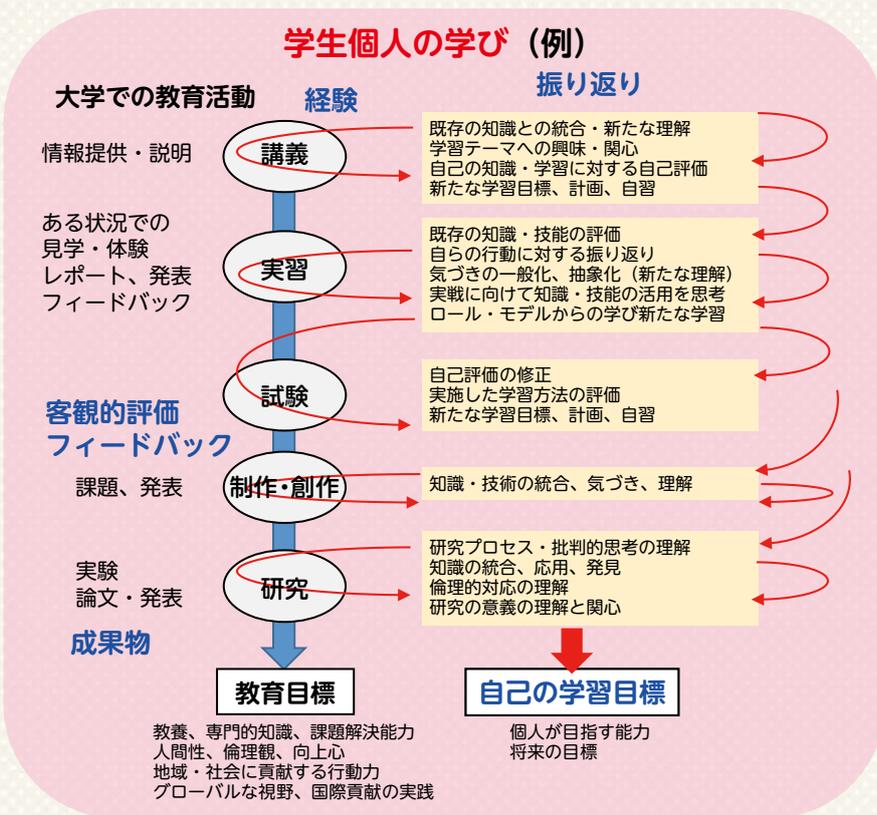


## ポートフォリオとは？ ポートフォリオは「紙挟み」、学習過程と成果の記録

試験問題の解答だけで学生の全ての能力を評価することはできません。試験では評価できない能力、例えば問題解決能力、自主的な学習を行う技能と態度、倫理的対応なども学習目標に含まれており、これらの修得を支援することが教員に求められています。目標達成のために学生が何を体験して何を理解・発見し、どのような学習の成果が得られたかを、学生自身が整理、保存したものがポートフォリオになります。ポートフォリオは学生個人の能動的な学習活動の記録であり、作成する過程そのものが振り返りによる学習です。



## ポートフォリオの作成と学習 ポートフォリオの形式は目的により多様です(次ページに例示)



## ポートフォリオ

記録するのは

- 各自の学習目標
- 各自の学習活動 (経験)
- 振り返りReflection  
理解した知識・概念  
修得した技能  
「状況」での行動  
倫理的問題と対応  
自己評価  
自己主導の学習技能・態度
- 客観的評価・フィードバック
- 学習の成果物  
など



## ポートフォリオの活用方法

上の図のように、ポートフォリオにより、学生の学びのプロセスや身につけた能力などを様々な観点から把握することが可能になります。学生の学習成果に対する適切な評価だけでなく、学習の支援やキャリア教育など幅広く活用することにより、学生一人一人に対する丁寧な教育につながります。

学生の評価に利用する場合は、評価対象となる領域と評価基準を明示して、「真の」能力を適切に判定し、また評価結果への学生の理解を得られるように工夫することが必要です。

11号

12号

13号

14号

15号

16号

17号

18号

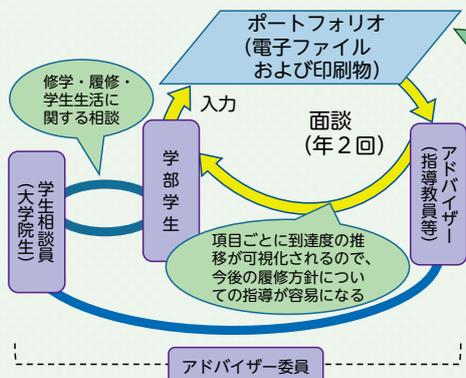
19号

20号



## 工学部のアドバイザー制とe-ポートフォリオの利用

工学部ではアドバイザー制を実施しており、その中で学部学生の学修・履修状況、学生生活状況、進路希望等を把握して、適切な指導を実施するために利用/JABEE実施学科ではJABEE面談票なども併せて利用



- ・各期、科目区分ごとの単位取得状況
- ・自己採点シート
- ・学習自己点検シート
- ・取得単位の累積グラフ
- ・JABEE面談票 (JABEE実施学科)

(建築学科)		JABEE 学習・教育到達目					
到達目標	A	B					
目標別達成度	21%	0%					
目標別 総計	0.87	0.00					
目標別基準値	4.13	17.07					
目標細分	A1	A2	A3	B1	B2	B3	C1
細分別達成度	0%	0%	65%	0%	0%	0%	0%
細分別 総計	0.00	0.00	0.87	0.00	0.00	0.00	0.00
細分別基準値	0.80	2.00	1.33	10.00	5.60	1.47	5.00

### 自己採点シート

項目	2016年度 前期	2016年度 後期
1 工学に関する基礎知識		
2 各工学分野での基礎知識		
3 人前での発表能力		
4 人と話し合ったり議論する能力		
5 チームの一員として取り組む能力		
6 英語、その他外国語による表現能力		
7 読書、講習会への参加、英会話、英検、英検2級		

### 学習自己点検シート

1. 今期の目標は達成できたか。
2. 講義の取り組みは積極的だったか。
3. 講義毎に勉強方法がつかめていますか。
4. それぞれの講義の理解度は自分の目標に達していますか。
5. 平日(試験勉強以外)1日当たりの勉強時間(平均)はどのくらいですか。勉強時間が足りていないと感じている講義はありますか。

### 学習・教育到達目標

- A: 技術者の使命感と倫理観
- B: 工学の基礎知識・能力
- C: 建築の基礎知識・能力
- D: 建築の高度な知識・能力
- E: 自主的・継続的学習能力とエンジニアリングデザイン能力

## 司法政策研究科の学修ポートフォリオ

### 司法政策研究科の指導体制

当研究科では、ポートフォリオとは呼んでいないが、指導体制としてほぼそれに相当する取組を、平成16年4月の設置時から実施。授業アンケートの情報にも細かく対応し、学修状況の把握に背景的に資するように位置づけられていることに特色がある。

### ●各学期の学修展開：コミュニケーションを通じた学修状況の確認

「中間」「授業終了」「試験問題」「成績評価後」の4回の授業アンケートでは、実施された各回の集計結果や、それぞれへの教員によるReplyである「所感と対応」が、随時公表される。

これにより、自分の学修状況を確認する機会を得られる。特に、自由記載欄への記載には、個別にほぼ確実に回答がなされるので、個々の学生のレベルで授業進行の趣旨の確認ができ、学修上力を入れるべき点への助言を得られる。

「アンケートを活用した継続的な学修指導」



### ●最終到達レベルに向けた「到達確認の情報提供」

学生は、全国の法科大学院共通の「共通到達目標」をベースに、くりかえし学習をベースに組み上げられた3段階の螺旋状に高度化するプログラムで学修を進める。

「3段階の螺旋状高度化カリキュラム」



### ○到達・習得すべき内容の情報

- ・「共通到達目標」 全国共通に定められた「共通到達目標」があり、法曹志願者として習得すべき内容とレベルが示されている。
- ・「成績評価総括」 授業で課されたレポートや試験問題の「課題や出題の趣旨」と、試験の平均点、成績評価の分布が提供される。

### ○個々の学生に提供される到達度情報

- ・「成績情報」 成績素点、各科目のGPA、各学年GPA平均、在学中全体のGPAが記載された成績表。
  - ・「単位取得状況一覧」 単位の取得状況を提供している。
  - ・「採点後の試験答案」 担当教員が答案を添削し、コメントをつけた「答案原本」が返却される。
- これら5つが、司法試験やその後の法実務に就くまでのキャリア・マップ上の到達点を示す、学修履歴(個人カルテ)の機能を果たす。

### ●担任との面談、学修相談・指導

上記の「共通到達目標」「成績評価総括」「成績情報」「単位取得状況一覧」「採点後の添削された試験答案」の5つは、学期毎に実施される担任との学修相談で活用される。



## 医学部のe-ポートフォリオ

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ ログイン

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ へようこそ!

- このシステムでできること
  - 学習者(利用の対象となる学生)
  - 以下のポートフォリオに登録して教育到達目標と達成状況を確認する
  - ・ふりかえり：授業科目に対する学習の記録
  - ・学習成果物：授業科目で作成した成果物(ファイル)
  - ・自己の学習目標：教育到達目標を考慮した、卒業までの達成目標
  - ・症例報告：臨床実習時の症候、疾患、経験した手技等の症例報告
  - ・臨床評価：臨床実習の自己評価と教員評価
- ポートフォリオに対する、指導者からのフィードバックを確認するアクセスを提示することで、指導者とポートフォリオを共有することが出来ます。

医学部が2010年に開発、導入したe-ポートフォリオは、現在、歯学部、島嶼・地域ナース育成センターでも活用しています。

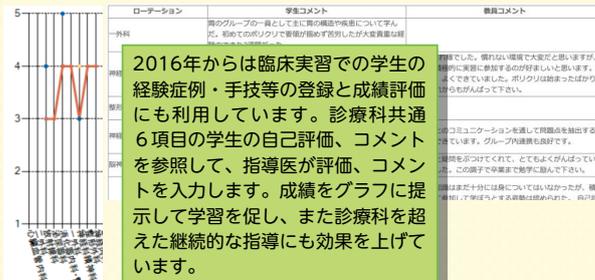
アウトカム基盤型教育を推進するために、教育到達目標の達成度の学生の自己評価、教員評価を一覧表示する機能も有しています。

### 教育到達目標の達成状況

学修番号	コード	氏名	内容	Phase1	Phase2	Phase3
1a	1a	田川 まさみ	国際社会に対応できること	0/0	0/0	0/0
1b	1b	田川 まさみ	国際社会に対応できること	0/0	0/0	0/0
1c	1c	田川 まさみ	国際社会に対応できること	0/0	0/0	0/0
2a	2a	田川 まさみ	国際社会に対応できること	0/0	0/0	0/0

科目の担当教員は学生の記録した振り返りにフィードバックできます。

更新日 016/07/05 氏名 田川 まさみ  
先生から「地域医療に対する積極的な関心を感じた。成長する自分を実感することは学習の励みからと遠慮せず、医師に必要な知識、技能を習得」



学生を6年間担当する助言指導教員が、ポートフォリオを閲覧して指導を行うことも可能となりました。